

鳥取大学医学部附属病院で脳卒中の治療を受けられた方へ -臨床研究協力のお願ひ-

課題名：急性期脳卒中患者における CT 灌流画像解析と全自動画像解析の臨床的有用性の探索的研究（国内多施設共同登録研究）

対象となる方：杏林大学倫理委員会承認（2020年3月24日）から2024年3月の間に、脳卒中を発症または入院中に発症し、下記の共同研究機関で治療を受けられた方

研究代表者：杏林大学医学部脳卒中医学 講師 河野浩之

研究の目的：脳卒中を発症した患者さんに対して行った頭部画像診断情報と臨床情報を比較し、画像判定結果がその後の検査結果と差があるかどうか、また、通常診療で行っている画像判定結果、全自動画像解析、実際に撮影した画像を後から画像処理した模擬低線量画像の結果に差があるかどうかを調べます。

研究の方法：画像情報や診療録（カルテ）情報を持ちいて調査します。調査期間は鳥取大学医学部倫理審査委員会承認後から2024年3月31日までの予定です。

研究に用いる資料・情報の種類：診療録から診療過程、性別、年齢、既往歴、併存疾患、喫煙歴、飲酒歴、脳卒中重症度、脳梗塞臨床病型、治療内容、血液検査、画像情報（頭部CT、頭部MRI、超音波検査、血管造影検査など）、脳出血、くも膜下出血の部位、臨床転帰（退院時、3ヵ月後）を収集します。診療内容はその時代において診療ガイドラインや最新医学情報を参考に、標準的または行った方がよいと判断して実施したものです。この研究は介入をとまなわなない既存の情報のみを用いた観察研究であるため、新たに人体試料は採取しません。研究成果は、学術集会や学術雑誌に発表することがありますが、匿名化し、個人を特定できない状態にしたのちに解析します。個人を特定できるデータが公表されることはありません。匿名化したデータは杏林大学医学部脳卒中医学教室及び鳥取大学医学部附属病院脳神経内科医局研究責任者が施錠保管管理します。

倫理的配慮：この研究は杏林大学医学部倫理委員会及び鳥取大学医学部倫理審査委員会にて審査され、鳥取大学医学部長の承認を得たものです。本研究の個人情報の開示など個人情報に関する問い合わせ、研究への不参加、参加取りやめを希望される方は、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。研究への不参加、参加を取りやめた場合は、研究代表者に連絡され、情報は削除されます。

利益相反について：本学では、研究実施計画は鳥取大学医学部利益相反審査委員会で審査と承認を受けています。

問い合わせ先：〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2 杏林大学医学部脳卒中医学医局

TEL：0422-47-5511（内線2254）

〒683-0804 鳥取県米子市西町36番地1 鳥取大学医学部附属病院脳神経内科医

局 TEL：0859-38-6757

共同研究機関：杏林大学医学部附属病院、熊本赤十字病院、鳥取大学医学部附属病院